

令和7年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

令和7年度は、令和6年度に作成した「事業団中長期計画（第2次）」の事業方針を踏まえ既存の事業の見直しを行うとともに、特定資産である「広報活動強化事業積立資産」を活用した事業を実施したほか、安定的な組織運営を行うため、これまでの財務状況を分析し、中期財政見通しを作成した。また、令和7年度から施行された公益法人制度改正の趣旨に沿って、組織のコンプライアンスを高めるため内部規程等を制定したほか、職員のメンタルヘルス対策の実施及び柔軟な働き方を推進するための勤務体制を整備した。

資産運用に関しては、米国の経済政策や緊迫する中東情勢等による影響は受けながらも、景気は緩やかな回復傾向にあることから運用環境は改善しており、予算額及び前年度実績額を上回る運用益を確保することができた。また、償還となった債券の後継債券として、安全性の高い公共債を購入し、リスクの低減及び分散投資を進めた。

各事業の概要については、以下のとおりである。

健康づくり運動普及啓発事業（公益1）では、子ども及び若年層を対象としたイベントや体験型の講習会を実施したほか、健康情報誌の発行及びWEBサイト・テレビ番組等を活用して、幅広く情報発信を行った。また、働き盛り世代へ向けて健康経営を推進する事業や、地域・行政等の力を活用して健康づくりを支える環境づくりを図るため、助成事業を引き続き実施した。

臓器移植普及推進事業（公益2）では、沖縄県と委託契約を締結し、臓器移植コーディネーター2名を配置した。ドナー発生時の対応（あっせん業務）に関して令和7年度の臓器提供数は、前年度と同数の3件であった。また、医療機関に対して移植医療体制整備事業を実施したほか、メディア等を活用した普及啓発事業や県民を対象に臓器移植に関する意識調査事業を行った。

ファミリーハウス事業（公益3）では、離島などから本島の医療機関で治療を受ける病児や付き添い家族のための宿泊施設「がじゅまるの家」を委託により運営し、県内では、離島や本島北部など16市町村の住民の方から利用があった。また、施設の安全性と利便性向上のための設備の新設及び更新を行ったほか、施設の認知度拡大及び利用促進を目的とするホームページのリニューアルを行った。

勤労者福祉事業（公益4）では、公募により就労困難者の雇用に対する支援に取り組む団体に対し助成を行った。雇用に関する相談及び指導、資格取得などによる職業能力を高める事業のほか、関係機関と連携し総合的な支援を行うことで労働者福祉の向上に努めた。

収益事業においては、所有する建物及び敷地内から湧出する温泉について、計画的に修繕や定期メンテナンスを行い、引き続き安定した収益を得ることが出来た。

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア) 県民健康フェア 2025 の開催

県民の健康づくりに関する意識の向上と取り組みを促すことを目的に、沖縄県医療保健介護連合（なごみ会 22 団体）と連携したイベントを開催した。

- ・日 時：令和 7 年 8 月 17 日（日）12：00～16：00
- ・場 所：沖縄コンベンションセンター（展示棟）
- ・参加者：1,216 人

(イ) 調理実習の開催

地域に根差した健康づくりの視点から、子どもの食育、減塩・生活習慣病予防メニュー等をテーマに体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、沖縄市ほか 6 市町村で計 8 回実施した。

- ・期 間：令和 7 年 7 月～令和 8 年 1 月（参加者：計 105 人）

(ウ) 体験型栄養教育システム活用事業

県内各地における食育イベント及び講習会等において、実物大のフードモデルを用いた体験型栄養教育システムを活用し、県民の食習慣の見直しと望ましい食生活の実践を促すことを目的に、「食育 SAT システム（備品）」を（公社）沖縄県栄養士会に貸借し、効率的な運用を図った。

〔活用実績〕 件数 29 件、利用者 2,172 人

(エ) 若年層向け食育講習会

働き盛り世代の生活習慣病予防とヘルスリテラシーの向上を目的とし、今後就職や進学を迎える高校生を対象に、食育 SAT システムを利用して体験型食育講習会を開催した。（参加者：計 295 人）

① 嘉手納高等学校

- ・令和 7 年 6 月 13 日（金）〔2 年生 1 クラス、20 人〕

② 久米島高等学校

- ・令和 7 年 9 月 30 日（火）〔3 年生 2 クラス、40 人〕
- ・令和 7 年 10 月 1 日（水）〔2 年生 1 クラス、20 人〕

③ 真和志高等学校

- ・令和 7 年 10 月 22 日（水）〔1 年生 2 クラス、40 人〕
- ・令和 7 年 10 月 23 日（木）〔1 年生 2 クラス、40 人〕

④ 美里高等学校

- ・令和 7 年 11 月 27 日（木）〔1 年生 2 クラス、50 人〕
- ・令和 7 年 11 月 28 日（金）〔1 年生 3 クラス、75 人〕

〔支援学級 1 クラス、10 人〕

(オ) 子供の体力低下対策イベントの開催

運動・スポーツに対する苦手意識の払拭と動くことの楽しさを実感してもらい、将来の運動習慣の定着につなげていくことを目的に、4 才から 10 才の児童を対象としたイベント『こどもスポーツフェスティバル 2025』を開催した。

- ・日 時：令和 7 年 12 月 14 日（日）10：00～17：00
- ・場 所：A g r e ドーム北谷
- ・内 容：こども体力測定や運動教室体験、IT 技術を使った最新スポーツ、参加型ステージ等
- ・参加者：4,860 人

イ 健康づくり情報の提供

(ア) メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年3回（8月、11月、2月）で各号23,000部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所など約1,700ヶ所へ配布した。また、県内コンビニ・スーパー、モノレール各駅及びイベント等での配布も行ったほか、より多くの人に手に取っていただけるよう配布場所にマークをつけた地図をWEB上に掲載した。

各号でプレゼント応募の際に、アンケートを実施しており、その結果は以下のとおりである。（2月号/総数468件）

入手先	セブンイレブン 34.8%、職場 14.1%、かねひで 7.8%
男女別	男性 27%、女性 71%
年代別	40代 29%、30代 23%、50代 23%、20代 15%

情報誌の発行に加え、専用ウェブサイト（www.islandweb.okinawa）及び各種SNS、動画配信サイト（YouTube）等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。

SNSにおいては、キャンペーンのほか、沖縄県産業まつりでのISLAND配布及びこどもスポーツフェスティバルにおけるブース出展によりフォロワー数を増やし、より多くの方に情報発信することができた。令和8年3月末時点のSNSフォロワー数は以下のとおりとなった。

	Instagram	X	LINE	YouTube
フォロワー数	5,096	2,812	305	208
対前年度比	113.0%	119.3%	新規開設	114.9%

令和7年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは、以下のとおりである。

Vol.71（8月号）『糖化と老化』、Vol.72（11月号）『体幹ガチトレ』、

Vol.73（2月号）『気になるニオイ』

(イ) 健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

ウ 保険者との連携事業（全国健康保険協会沖縄支部）

(ア) 事業所で取り組む禁煙サポート事業

事業所や薬剤師のサポートを受けながら、最大8週間の計画に沿って禁煙に取り組むことで、卒煙率を高めるとともに事業所の禁煙に取り組む環境の整備を行い、受動喫煙防止の促進を図った。

- ・参加事業所及び参加者：41社、155人
- ・卒煙率：20.0%（令和8年3月時点）

エ 勤労者健康推進事業

(ア) 職場の健康力アップ推進事業（沖縄県との共同事業）

県内企業に対し健康経営の普及推進を目的に、企業の健康づくりを企画、立案から実施までワンストップでサポートする事業として、各企業が抱える職場の健康問題を改善するための取組みを支援した。多く実施された支援メニューとしては、①オフィスフィットネスセミナー、②食生活改善セミナー、③高血圧対策セミナーとなっている。その他には、経済団体・関係団体への情報伝達、各

種メディアからの情報発信、健康づくりに関する各種制度の周知や利用促進等の普及啓発を行った。

- ・実施期間：令和7年6月24日～令和8年3月31日
- ・委託額：14,690,320円（うち当事業団負担額3,900,000円）
- ・実施企業及び参加者：45社、延べ1,907人

(イ) ラジオ体操の普及啓発事業

県民の運動不足解消を目的に、県内企業の働き盛り世代を対象とした「本気のラジオ体操」の普及啓発並びに定着化支援を図った。

- ・実施期間：令和7年5月21日～令和8年3月23日
- ・委託額：2,000,000円

① 普及啓発

県内メディア及びイベントにおいて、ラジオ体操指導者1級の資格を有するパッション屋良氏によるラジオ体操の効果説明や実演指導を実施した。

- ・沖縄テレビ放送『ヘルスハック大学TV』（令和7年9月10日放送回）
- ・こどもスポーツフェスティバル2025（令和7年12月14日開催）

② 定着化支援

県内企業4社を対象に、正しい動作で行うラジオ体操の定着化を支援した。

- ・定着率92%：参加者133人のうち122人が継続（令和8年3月時点）

(ウ) 健康テレビ番組活用事業【広報活動強化事業】

既存のテレビ番組を活用し、本県の働き盛り世代の健康課題を解決するヒントや取り組みなどを紹介した。本事業は、医師及び専門家の監修のもと、健康づくり無関心層などを中心に幅広い層への啓発を行った。

- ・番組名：沖縄テレビ放送『ヘルスハック大学TV』
 - ・放送期間：令和7年7月23日（水）～9月24日（水）
 - ・放送回数：10回（上記放送期間中の毎週水曜日24時50分～25時05分）
 - ・平均視聴率：1.8%（総視聴者数：延べ236,280人）
 - ・テーマ：「現代人は歯が命!」「健診へメッソーレ!」「マイエクササイズ」等
- ※テレビ放映後はYouTubeチャンネルにてウェブ配信を実施

オ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7（限度額40万円）の助成を行った。

助成件数：12市町村、助成総額：3,267,380円

	市町村名	事業名	実施期間	事業内容
1	浦添市	①浦添市健康づくり協力店認証制度事業 ②浦添市食生活改善推進員育成・養成事業	R7.4～ R8.2	①糖尿病や高血圧などの生活習慣病予防のため、市内の弁当販売店などに健康メニュー等の協力を依頼し、健康づくり協力店として認証した。 認証店：73店舗（R8.2月現在） ②地域活動を促進することを目的に、食育推進ボランティアの育成と新規会員の養成を実施した。 参加者35人（育成20人、養成15人）

2	沖縄市	健康食育推進事業	R7.4～ R8.2	沖縄市の食育推進計画に基づき、ライフステージに応じた食育を推進することで、「健康寿命の延伸」、「主観的健康観」の向上を目指し実施した。キッズクッキング教室、親子料理教室、郷土料理教室、減塩教室、ヘルスサポーター教室、ウォーキング教室、健康講演会。参加者:延べ 862 人
3	与那国町	令和7年度福祉と健康づくりの集い	R7.10.11	住民の健康づくりの意識高揚、福祉への理解を深めるため、本イベントを実施した。ウォーキングイベント、体力テスト、健康関連パネル展示、血圧・血管年齢測定、歯科相談、ボランティアによる食育ブース等。参加者:260 人
4	うるま市	健康フェスタ	R7.11.15	うるま市民の健康意識の向上を図り、健康づくりに取り組む契機として本イベントを実施した。体力測定、市民公開講座、食育に関する試食配布、味覚チェック、運動遊び教室、市民講座、ベジチェック等。参加者:3, 360 人
5	西原町	西原町民の食生活改善推進に向けた特別健康展	R8.1.25	町民の健康的な食生活習慣が実践できるよう、西原町と町食生活改善推進協議会が協働し、健康展を開催した。BMI 計測、減塩指導、フレイル予防指導、展示コーナー、食育に関する資料配布等。参加者:60 人
6	宜野座村	宜野座村 いきいき健康事業	R7.10.26	村民が生活習慣を振り返る機会にし、健康意識の高揚を図るため「いきいき健康フェスティバル」を開催した。食育 SAT、健康チェック測定(ベジチェック、AGE センサー測定、骨ウェーブ測定、2種反射神経チェック測定、運動等。参加者:198 人
7	北中城村	沖縄生まれのスポーツ メンコデングリーを活用 した健康づくり・地域づ くり・まち(交流)づくり	R7.7～12	遊びの「メンコ」を進化させたスポーツデングリーを通して、村民の運動習慣化と筋力低下の改善を図った。また、世代を超えたスポーツと健康増進イベントとして交流を深めることを目的にスポーツメンコデングリーキャラバンや大会を開催したほか、デングリー1分間世界記録挑戦等も実施した。参加者:159 人
8	那覇市	食生活改善推進員 養成・育成事業	R7.4～ R8.2	食の健康づくりボランティアとして市民の食生活の改善を図るため、食生活推進員の養成及び育成を行った。養成は事前面談、講座、修了証書授与式等を実施し、育成は定例勉強会を行った。参加者:49 人(養成9人、育成 40 人)
9	中城村	ワンコインフィットネス 運動支援事業	R7.5～ R8.2	村民の生活習慣病予防及び健康増進を目的とし、特に運動習慣のない住民に対し、スポーツジムでの運動機会を提供して、手軽に運動を始めるきっかけを作った。全 12 回開催し、半数を超える参加者がすべての回を修了できており、6回以上修了した者も 90% を超える取り組みとなった。参加者:31 人

10	嘉手納町	嘉手納町 食育推進事業	R7.4～ R8.2	健康・食育かでな 21 最終評価による「肥満者の割合の減少」が横ばいであること等を受け、若い世代に向け、長寿を支えた健康的な文化料理(郷土料理)を継承するレシピ動画制作及びチラシ等を作成し、動画配信、チラシ配布等を行った。動画視聴回数(3話＝40,882 回、4話＝35,728 回 ※R8.2.17 時点)
11	伊是名村	伊是名村 健康づくり事業	R7.9.27	伊是名村の健康課題である村民の健康意識の向上を図ることを目的に、健康講話や健康測定、食育や運動教室等を行った。講話(笑いヨガ)、骨密度測定と指導、運動教室(理学療法士によるフレイル対策講話・実技)、食育(咀嚼チェック・減塩対策指導・ヘルシージュースの試食等)。参加者:延べ 250 人
12	宜野湾市	①健康づくり教室 HELIMAS ②琉球料理教室	①R7.10～ R8.2 ②R7.5～10	①20～64 歳(BMI25～35 未満の肥満で悩んでいる人)を対象に健康づくり教室を実施した。市職員(保健師・栄養士・運動指導士)による講話・実技・測定等を7回開催。参加者:延べ 35 人 ②沖縄の伝統料理を楽しみながら、食に関する知識と食を選択する知識を培うことにより健全な食生活を実践することを目的に、料理教室を3回実施した。参加者:44 人

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の 100% (限度額 30 万円) の助成を行った。

助成件数：5 団体、助成総額：1,398,897 円

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	沖縄県医科学研究財団	令和7年度 市民公開講座	R7.8.2	地域的に重要な医科学分野の研究を促進し、またこれらの知識を普及することをもって県民の健康と福祉の向上に資することを目的に最先端医療に関する市民公開講座を開催した。参加者/68 人
2	総合型クラブ TEAM たまぐすく	ゆいゆい健康 フェスタ 2025	R7.11.23	幼児から高齢者まで多世代に広く受け入れられるプログラム(カラダ遊び体験・スポーツレクブース、健康チェックブースなど)を用意し、参加者が繋がる結フェスタを開催した。参加者/143 人
3	沖縄県 女性連合会	健康と福祉に 関する講演会 (第 73 回全国女性 団体研究大会 in おきなわ)	R7.11.25	少子高齢化を迎え認知症の増加や家族の病気等により介護で悩み苦しんでいる人も増加しており、心身ともに元気である生活を送るため、実体験をもとにした介護のあり方について講演を行った。 参加者/約 600 人
4	沖縄がん教育 サポート センター	がん教育外部講師 の育成と派遣事業	R7.4～ R8.2	共生社会を目指す態度を育成することを目的に、県内小・中・高校、専門学校や自治体へ講師を派遣し、正しいがんの知識と健康や命の大切さを伝えるためのがん教育授業を行った。11 校、参加者/1,500 人

5	沖縄県医師会	65歳未満 健康・死亡率改善 プロジェクト	R8.1～2	令和6年度に、県医師会と事業団の共同で作成した 血圧手帳が好評だったため増刷し、医療機関やうるま 市内郵便局、イベント等で県民へ配布した。血圧測定 を習慣化することで、生活習慣病の悪化を防ぎ健康 意識の向上を図った。6,285冊配布
---	--------	-----------------------------	--------	--

(ウ) 健康課題解決型支援事業助成

行政及び民間企業等が連携して県民の健康課題の解決を図る事業に対し、将来的な自走化を見据えた助成の応募を募り、事業費（限度額 500 万円）の助成を行った。令和 7 年度は、「働き盛り世代の生活習慣病を予防するための運動習慣の定着化」と「子どもの虫歯対策に関する行動習慣の定着」の課題に関する 2 件の助成を決定した。助成総額：9,970,840 円

	助成事業者	事業名	実施期間	事業内容
1	(株)ファンファーレ・ジャパン 連携先：沖縄市	10 分は 1000 歩 1日 10 分/歩行 時間を増やそう プロジェクト	R7.7～ R8.1	沖縄市が運営する健康アプリ「おきはくんアプリ」を活用し、まずは +10 分(約 1000 歩)から「無理なく」「毎日続けられる」歩行習慣の提案を行い、働き盛り世代の健康意識向上と、生活習慣病の予防を目指した。SNS 等の活用やお笑いタレントを起用して、ウォーキングキャンペーンやイベントを実施した。当事業実施後は、アプリ DL 数及び利用数が増加し、このプロジェクトを認知している者の歩数が認知していない者の歩数より優位に多かったことから、一定の効果があつた。
2	(株)WizWe 連携先：那覇市	歯の健康習慣化 支援事業	R7.10～ R8.2	那覇市在住の未就学児～小学生の子どもをもつ保護者を対象に、保護者による仕上げみがきの習慣化を目指し、LINEを活用したサポートを行った。内容は、画像付きメッセージ配信、専属サポーターとの双方向コミュニケーション、歯科に関する情報提供を行った。その結果、サポート実施前は仕上げ磨きをほとんどしていなかった者が、サポート後、週に5回以上は実施する割合が 62.5%と増加し、保護者への心理的サポートが有効だと分かった。

(2) 臓器移植普及推進事業

臓器の移植に関する法律（平成 9 年法律第 104 号）の施行後、四半世紀が経過し、脳死下での臓器提供者（ドナー）数が徐々に増加し、全国における令和 7 年度の脳死下臓器提供数は 155 件で過去最高となる一方、諸外国と比べると、人口 100 万人当たりの脳死・心停止ドナー数はいまだ低い水準となっている。このような状況を踏まえて、厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会では、令和 6 年 12 月に臓器移植実施体制の抜本的見直しに係る改革案を取りまとめて以降、着実に取組を進めている。

本県における臓器移植の現状としては、腎臓及び脾臓（肝臓は生体移植のみ）の移植が可能であるが、透析患者数が人口 100 万人あたりの患者数で全国上位に位置するなど、令和 7 年 12 月末で 255 名の方が腎臓移植希望の登録を行い移植が受けられる日を心待ちにしている。一方、腎臓移植等に必要な組織適合性（HLA）検査施設が

不在となっている課題に関しては、琉球大学病院が令和8年度中に新たな検査施設の運用を開始する予定である。

ア 臓器移植連絡調整者設置事業（県からの受託事業）

臓器移植連絡調整者（臓器移植コーディネーター）を2名配置し、日本臓器移植ネットワークと協働しながら、関係医療機関との連携に努めた。

（ア）臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

- ・ドナー情報数：21件（前年度25件）
- ・臓器提供数：①脳死下 3件（前年度2件）
②心停止下 0件（前年度1件）
- ・腎臓移植：8件（前年度5件）
- ・膵臓移植：1件（前年度0件）※県内初

令和7年度県内実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	1	1	0	1	0	3	3	2	2	2	3	3	21
提供数	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
腎移植数	0	4	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	8
膵移植数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

（イ）臓器移植推進委員会の開催

臓器移植の専門的立場からの指導助言を受け、正しく臓器移植医療の普及啓発を図るため、専門医による推進委員会を開催した。

<第1回>令和7年6月25日（水）18:30～20:00

<第2回>令和7年12月8日（月）18:30～19:30

<第3回>令和8年3月25日（水）18:30～20:30

（ウ）臓器移植コーディネーターの資質向上

臓器移植コーディネーターの教育並びに適切かつ円滑に業務が遂行できるよう日本臓器移植ネットワークが開催する研修会及び日本移植学会等の関連学会への参加を行った。

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

（ア）病院啓発

那覇市立病院を拠点施設とする臓器提供施設連携体制構築事業（厚生労働省事業）と協働しながら関係医療機関への巡回訪問及び勉強会を開催した。

（イ）沖縄県移植情報担当者会議の開催

<第1回>令和7年7月4日（金）14:00～16:00 沖縄県医師会館3階ホール

参加者：34人（14施設）

内 容：報告 アイバンク活動報告

井上えりか（沖縄県アイバンク協会）

報告 臓器提供の現状について

仲間貴享（沖縄県臓器移植コーディネーター）

症例報告 心停止後臓器提供【浦添総合病院】

岩永航（医師）、喜友名由香（看護師）

講演 法的脳死判定と脳死下臓器提供

内藤宏道（岡山大学病院 救命救急科 准教授）

＜第2回＞令和7年11月21日(金)14:00～16:00 沖縄県医師会館3階ホール
参加者：35人（15施設）

内 容：報告 沖縄県内の臓器提供の現状と普及啓発活動について

勝連知治（沖縄県臓器移植コーディネーター）

講演 琉球大学病院における臓器移植の歩みと臓器移植に関して

大野慎一郎（琉球大学病院 消化器・腫瘍外科）

症例報告 脳死下臓器提供【友愛医療センター】

西平守邦（副院長）、比嘉直人（移植支援室長）

＜第3回＞令和8年3月5日(木)14:00～16:00 沖縄県医師会館3階ホール
参加者：36人（12施設）

内 容：報告 臓器提供の現状について

仲間貴享（沖縄県臓器移植コーディネーター）

症例報告 脳死下臓器提供【那覇市立病院】

豊見山直樹（副院長）江夏大介（ICU 師長）

報告 臓器提供施設連携体制構築事業について

豊見山直樹（那覇市立病院）

（ウ）研修会・学会等への派遣

関係医療機関に配置されている移植情報担当者等を対象に募集を行い、下記の派遣を行った。

① 第61回日本移植学会総会（愛知）

派遣期間：令和7年10月9日から12日

派遣者数：3名

② 第59回日本臨床腎移植学会（東京）

派遣期間：令和8年2月12日～14日

派遣者数：1名

③ 脳神経ハンズオンセミナー（福岡）

派遣期間：令和8年2月8日

派遣者数：7名

（エ）移植医療セミナー（TPM）への派遣

関係医療機関で急性期医療に関わる医師等を対象に募集を行い、下記の派遣を行った。

派遣先：スペイン バルセロナ

派遣期間：令和7年10月11日～19日

派遣者：豊崎光信（友愛医療センター医師）

※上記（ア）、（イ）の事業については、日本臓器移植ネットワークの令和7年度都道府県支援事業費助成金を活用した。

ウ 県民への普及啓発事業

（ア）臓器提供意思表示の推進

臓器提供意思表示カードへの記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置やマイナンバーカード・自動車免許証等への記載について普及啓発を行った。

- ・市町村、関係機関等への意思表示カードの配布、補充
- ・普及促進グッズとしてオリジナルクリアファイルを配布

（イ）臓器移植普及推進月間（10月）行事の開催

① 街頭キャンペーン及びグリーンライトアップ

開催日時：令和7年10月4日(土)18:00～19:00

開催場所：パレット久茂地前広場

ライトアップ：琉球新報本社ビル：令和7年10月4日（土）～10日（金）

国際通りストリートビジョン：令和7年10月4日（土）～10日（金）

あしびかんぱにービジョン：令和7年10月4日（土）～17日（金）

沖縄サントリーアリーナ：令和7年10月16日（木）

② 臓器移植を知るシンポジウム 2025

開催日時：令和7年10月25日（土）14:00～16:00

開催場所：沖縄県立図書館3階ホール

参加者：67人

内容：キャッチフレーズコンテスト授賞式

グランプリ：「もしもの話 大事な話。伝えて欲しい、あなたの気持ち。」

移植経験者発表

「高校教諭が伝える『命の大切さ』～肺移植を経験して」

横山美紀 北海道札幌東陵高等学校 教諭

基調講演

「臓器移植を考える～法的・倫理的な側面から～」

富山侑美 沖縄大学経法商学部経法商学科 准教授

(ウ) キャッチフレーズコンテスト及びグリーンリボンPR展の開催

グリーンリボン沖縄 Instagram オフィシャルアカウントにてキャッチフレーズ募集を行い、応募総数124件の中からグランプリを決定し、臓器移植を知るシンポジウムでの活用やグリーンリボンを紹介するPR展を下記のとおり開催した。

・県立図書館：令和7年7月16日～7月28日、10月8日～10月27日

・県立中部病院：令和7年11月19日～12月19日

(エ) メディア等を活用した広報事業

各種メディアを活用して、臓器提供意思表示の促進及びグリーンリボン認知度向上に資する以下の活動を行った。

① ラジオ番組の活用

・MUSIC SHOWER Plus + (RBC i ラジオ)：令和7年10月1日（水）

・ティーサージ PARADISE (ラジオ沖縄)：令和7年10月16日（木）

・ハッピーアイランド (エフエム沖縄)：令和7年10月22日（水）

② 新聞等を活用した情報発信（臓器移植を知るシンポジウム 2025 記事掲載）

・琉球新報副読誌『レキオ』：令和7年11月13日（木）

・沖縄タイムス副読誌『ほ～むぷらざ』：令和7年11月13日（木）

③ 交通機関等での広告

・路線バス（車内広告）：令和7年9月1日～11月30日

（車内放送）：令和7年4月～令和8年3月

・モノレール（車内広告）：令和7年10月1日～10月31日

(オ) 臓器移植に関する意識調査事業

臓器移植に関する県民の意識を把握し、今後の普及啓発事業の参考とすることを目的に以下の内容で実施した。調査結果では、9割の方が「臓器移植について意思表示が出来ることを知っている」と回答しているのに対し、「臓器提供をする・しない」といった意思表示を記入している人は、30%であった。意思表示をしていない理由は、「よくわからない」が36%と最も多かった。なお、調査結果の詳細は、事業団HPにて公開している。

調査対象：県内在住の15～70歳までの男女500名

調査時期：令和7年8月15日～16日

調査方法：インターネット調査

(カ) 出張講座の開催

- ・長嶺中学校：令和 7 年 4 月 30 日（水）
- ・名桜大学：令和 7 年 5 月 12 日（月）
- ・沖縄三育中学校：令和 7 年 10 月 21 日（火）
- ・沖縄大学：令和 7 年 11 月 6 日（木）
- ・沖縄大学市民公開講座（オンライン）：令和 8 年 2 月 24 日（火）

(キ) グリーンリボンおきなわプロモーション事業【広報活動強化事業】

- ①沖縄アリーナを本拠地とする琉球ゴールデンキングスとオフィシャルパートナー契約を結び、アリーナ内ビジョンにグリーンリボンロゴを掲出するなど認知度向上と意思表示促進を図った。
- ②県内 240 店舗あるファミリーマートの店内ビジョンに 15 秒広告動画を配信し意思表示促進を図った。
配信期間：令和 7 年 9 月 30 日～10 月 27 日
配信時間：昼帯（11 時～17 時 59 分）、夜帯（18 時～23 時 59 分）

エ 助成事業

(ア) 組織適合性検査助成

県内在住の臓器移植希望者であって日本臓器移植ネットワークに登録する際に必要な組織適合性検査を受けた人に対して 1 人につき 38,450 円を限度として助成を行った。

支給件数：30 件

(イ) 臓器移植関係団体への助成

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している下記の 1 団体に対し 10 万円を上限に助成を行った。

助成先：（公財）沖縄県アイバンク協会

(ウ) 香料支給

臓器提供者及びそのご家族への感謝の意を表し、臓器摘出手術が県内で行われた場合に、1 件に対し 3 万円を支給した。

支給件数：3 件

オ 賛助会員募集事業（1 口：3 万円）

賛助会員加入の協力を、県内の医療機関及び企業団体等呼びかけたところ、26 法人（26 口）、78 万円の会費収入があった。

カ 献眼業務支援

（公財）沖縄県アイバンク協会より要望のあった献眼業務支援について、2 件のサポートを行った。

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・こども医療センター」等に、入院または通院する子どもや付き添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定 NPO 法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、施設においては、利用者が快適に過ごせるようシステムキッチン及び門扉の取替等を行ったほか、台風や災

害時の停電対策として非常用発電設備をわらびの会と連携して新設し、安心・安全な施設環境の整備に努めた。そして、ファミリーハウス事業について広く県民に周知するため、広報活動強化事業の一環として公式ホームページのリニューアル及びSNS開設等を実施したほか、情報誌（事業団発行『kenko ISLAND』、沖縄労働金庫発行『ろうきん便り』）及びテレビ番組（琉球放送『ウチナー紀聞』令和8年1月11日放送）を通じた情報発信を行った。

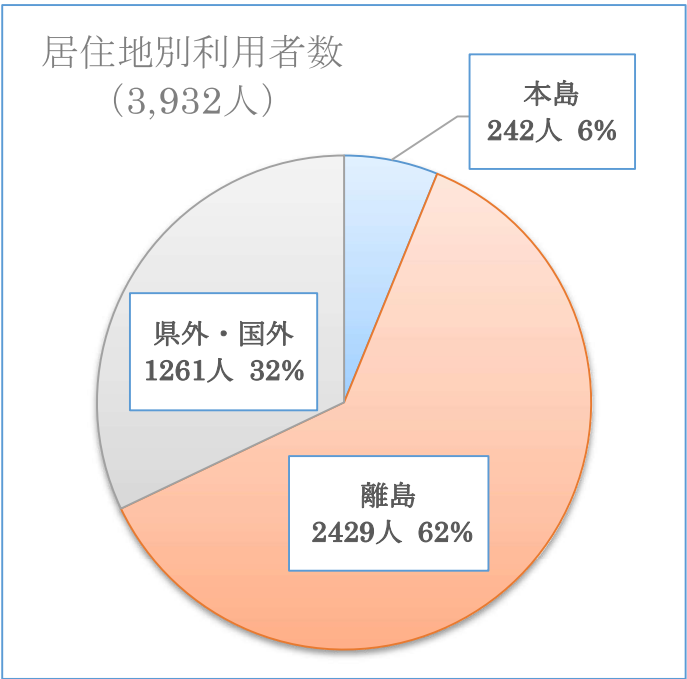
ア 令和7年度の施設稼働率及び利用者数等の実績

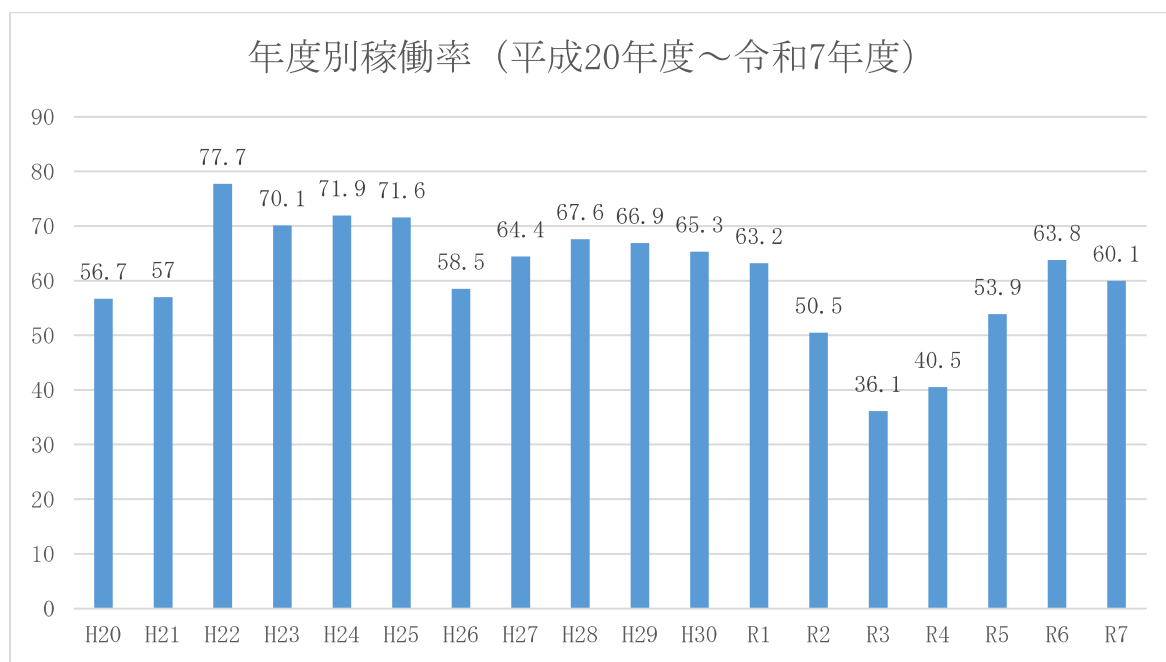
ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況（令和7年4月～令和8年3月）

月	営業 日 数	利用 室数	稼働率	利用者数(人)				
				沖縄県内			県 外	合 計
				本 島	離 島	計		
4	30	84	28.00%	0	112	112	51	163
5	31	114	36.77%	4	166	170	41	211
6	30	111	37.00%	0	115	115	76	191
7	31	190	61.29%	39	214	253	118	371
8	31	220	70.97%	84	254	338	91	429
9	30	171	57.00%	60	174	234	73	307
10	31	175	56.45%	3	147	150	97	247
11	30	211	70.33%	10	240	250	118	368
12	31	208	67.10%	28	96	124	249	373
1	31	250	80.65%	0	329	329	99	428
2	28	236	84.29%	0	275	275	166	441
3	31	220	70.97%	14	307	321	82	403
計	365	2,190	60.07%	242	2,429	2,671	1,261	3,932

都道府県別延べ利用者数及び割合

都道府県	人数	割合
沖縄県	2,671	67.93%
鹿児島県	597	15.18%
青森県	126	3.20%
愛知県	123	3.13%
千葉県	117	2.98%
大阪府	47	1.20%
岐阜県	39	0.99%
兵庫県	34	0.86%
神奈川県	31	0.79%
福岡県	26	0.66%
静岡県	26	0.66%
岩手県	24	0.61%
新潟県	19	0.48%
京都府	11	0.28%
三重県	10	0.25%
宮城県	6	0.15%
東京都	4	0.10%
広島県	2	0.05%
国外	19	0.48%
合計	3,932	100.0%





沖縄県内居住地別延べ利用者数

(単位:人)

R7年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	242
沖縄本島	名護					22	12	2					10	46	
	うるま		4				4		2					10	
	東				7									7	
	大宜味							1						1	
	国頭									10				10	
	恩納									6			3	9	
	那覇				32	62	44						1	139	
	金武								8	12				20	
沖縄県離島	久高							4						4	2,429
	渡嘉敷					1	13		4		4	4	4	30	
	久米島	12	1	14	35	61	26		6	2	35	28	17	237	
	宮古	4	53	48	42	44	30	100	120	77	182	99	150	949	
	石垣	81	96	53	104	146	96	33	105	17	95	144	130	1,100	
	粟国	12			20			7			13		6	58	
	伊江	3	3		3	2		3	3					17	
	竹富		13		10		9		2					34	
合計		112	170	115	253	338	234	150	250	124	329	275	321	2,671	

(4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

県内において就労困難者に対する就労支援事業を行う団体に対し、その事業費を公募により募集し、助成を行った。就労支援においては、長期離職者など現在の状況から就労に時間を要する方、生活や心の問題を抱えている方など多いことから、効果的な支援に繋げるため、就労の継続及び生活自立に向けた支援機関との連携など総合的支援が求められている。助成額 2,000 万円。

- 1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会
- 2 助成対象事業：沖縄県労福協 就労サポートセンター事業
- 3 実施期間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
- 4 事業内容：
 - (ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導
 - a セミナー及び訓練
 - ライフリテラシーセミナー＜計 16 回、参加者 199 名＞
 - 個別就職相談（沖縄コンベンションセンター）＜計 1 回、36 名＞
 - おしごと説明会&個別相談会＜計 1 回、90 名＞
 - b 中間的就労及び就労体験の場の提供
 - 訓練センターを活用した居場所のような訓練の場
＜利用総回数 311 回、利用者合計 1,084 名＞
 - フードバンク活動への参加＜計 14 回、参加者 24 名＞
 - 就労体験＜計 26 回、101 名＞
 - 合同企業説明会・職場見学&お仕事体験＜計 3 回、参加者 51 名＞
 - (イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供
 - a 無料職業紹介事業
 - 「就労困難者」にマッチングした求人開拓（新規登録企業数 6 社）
＜新規求職申込者 57 人、採用決定者 5 人＞
 - (ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業
 - 即戦力セミナー＜計 10 回、参加者 48 人＞
 - 訓練センターを活用したパソコンセミナー＜計 80 回、計 442 名＞
（Word・Excel・Canva・PowerPoint）
 - 救急救命講習＜計 1 回、28 名＞
 - エアコンクリーニング職業体験セミナー＜計 2 回、2 名＞
 - (エ) その他就労支援のために必要な事業
 - a キャリア教育
 - ライフリテラシーセミナー（首里高校）＜計 10 回、参加者 354 人＞
 - b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）に係る連携支援
連携機関：市町村、県内社会福祉協議会、県内就労支援関係団体等
 - c 相談員のスキル向上
 - 相談員向けセミナー＜計 4 回、参加者 160 人＞

沖縄県労福協 就労サポートセンター実績(令和 7 年度)

令和 7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規人数	22	31	33	43	24	19	49	28	30	20	23	24	346
延べ利用回数	30	48	102	156	128	142	153	119	229	327	69	127	1630
就職者数	3	6	2	2	5	5	3	4	9	2	5	7	53

※グッジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値（出張セミナー及び共催セミナー含む）

(5) 現有資産の活用

事業団が所有する施設を民間フィットネス事業者の(株)フィットネスプロモーション及び(公財)沖縄県アイバンク協会へ定期賃貸借契約により貸し付けた。(株)フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和7年度施設利用者の延べ人数は、約539,000人となっており、県民の健康増進に活用された。また、賃貸物件の安全性及び収益性を維持するため、受水槽設備及び排水管取替工事を行った。

土地については、発電設備設置の土地(152.08㎡)を(株)シントーへ貸し付けた。敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設(ジスタス浦添及び浦添の湯)へ供給を行った。

(6) 特定資産活用による広報活動強化事業計画

広報活動強化事業(令和5年度～令和9年度)は、令和7年度で事業実施3年目となるが、予算額7,632,600円に対し、決算額は7,610,000円となり、執行率は99.70%となった。

事業名		実施内容
健康づくり	働き盛り世代に向けた健康づくり広報事業	既存のテレビ番組を活用し、無関心層に向けて健康づくりへの取り組みやヒントを紹介した。※4頁エ(ウ)参照
臓器移植	臓器移植プロモーション事業	人気プロスポーツチームの琉球ゴールデンキングスと連携した広報事業及びファミリーマートの店内ビジョンに動画配信を行い、臓器提供に関する普及啓発事業を行った。※11頁ウ(キ)①及び②参照
ファミリーハウス	ファミリーハウス広報事業	公式ウェブサイトのリニューアル、SNS(インスタグラム)の開設、公式マスコットキャラクター及びグッズの制作を行い、がじゅまるの家の認知度向上を図った。※12頁参照

広報活動強化事業積立資産(特定資産)の活用による事業実施計画表

【令和5年度から令和9年度まで】予算総額2,300万円

事業名	事業内容	事業予算(円)					
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	事業別合計
働き盛り世代に向けた健康づくり広報事業	・新聞、ラジオ、SNS、公共交通機関広告等を活用した広告 ・食生活改善等に関する情報発信等 ・ノベルティ制作、その他	0	1,218,800	2,000,000	2,000,000	803,800	6,022,600
臓器移植プロモーション事業	・テレビ、SNS等を活用した広告 ・動画コンテンツの制作、放送 ・ノベルティ制作 ・その他	0	1,650,000	3,630,000	5,720,000	0	11,000,000
ファミリーハウス広報事業	・広報宣伝物(パンフレット及びポスター、施設紹介動画)の制作 ・公式ウェブサイト及びキャラクターの制作 ・SNSによる情報発信	0	3,997,400	1,980,000	0	0	5,977,400
合計額		0	6,866,200	7,610,000	7,720,000	803,800	23,000,000

(7) 資金運用

日米間の金利差は縮小傾向が続き、一時的に円高方向に振れる局面も見られたものの、依然として金利水準の差は大きく、円安基調は継続した。また、米国による関税強化等の影響により世界経済の不透明感が強まり、金融市場においては株価や為替が変動しやすい不安定な状況が続く年度となった。

事業団の令和7年度資産運用実績については、運用益が204,641千円、利回りが2.78%となり、対前年度及び対予算をいずれも上回る運用益（対前年度比3,392千円増、対予算比12,506千円増）と利回り（対前年度比0.01%増、対予算比0.13%増）を確保することができた。

令和7年度資産運用益及び利回り【対前年度比】

運用 種類	令和7年度実績			令和6年度実績			増減		
	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)
基本 財産	3,505,000	53,472	1.53	3,505,000	51,146	1.46	0	2,326	0.07
特定 資産	3,855,000	151,169	3.92	3,755,000	150,103	4.00	100,000	1,066	△0.08
計	7,360,000	204,641	2.78	7,260,000	201,249	2.77	100,000	3,392	0.01

令和7年度資産運用益及び利回り【対予算比】

運用 種類	令和7年度実績			令和7年度予算			増減		
	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)
基本 財産	3,505,000	53,472	1.53	3,505,000	51,577	1.47	0	1,895	0.06
特定 資産	3,855,000	151,169	3.92	3,755,000	140,558	3.74	100,000	10,611	0.18
計	7,360,000	204,641	2.78	7,260,000	192,135	2.65	100,000	12,506	0.13

3 業務経過

令和7年度	主要事項
4月 1日	令和7年度第1回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
〃	令和7年度第1回理事会（書面によるみなし決議）
〃	ファミリーハウス運営委託契約の締結（こども医療支援わらびの会）
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託（沖縄県）
3日	メディアミックス型健康情報発信事業公募開始（5/2 迄）
7日	健康課題解決型支援事業助成公募開始（5/23 迄）
8日	健康づくり運動実践団体助成事業公募開始（5/30 迄）
11日	市町村健康づくり運動実践活動助成事業公募開始（5/26 迄）
14日	臓器移植普及啓発活動団体助成事業公募開始（5/30 迄）
30日	出張講座 臓器移植医療について（長嶺中学校）
5月 1日	就労支援事業公募開始（5/30 迄）
12日	出張講座 臓器移植医療について（名桜大学）
14日	臓器移植推進事業賛助会員募集開始
21日	ラジオ体操普及啓発事業（R8. 3/23 迄）
28日	令和6年度事業報告及び決算に係る監事による監査実施
6月 9日	令和7年度第2回理事会
10日	子供の体力低下対策イベント事業公募開始（6/28 迄）
13日	若年層向け食育講習会（嘉手納高等学校）
24日	令和7年度定時評議員会
〃	令和7年度第3回理事会（書面によるみなし決議）
〃	職場の健康力アップ推進業務開始（県共同事業、R8. 3/31 迄）
25日	第1回臓器移植推進委員会
30日	受水槽取替工事入札
7月 1日	禁煙への動機づけ支援事業（協会けんぽ・県薬剤師会連携事業、R8. 3. 31 迄）
4日	第1回沖縄県移植情報担当者会議
16日	グリーンリボンPR展（県立図書館、7/28 迄）
〃	グリーンリボン Instagram キャンペーン作品募集開始（8/8 迄）
23日	健康テレビ番組活用事業 ヘルスハック大学TV放送（9/24 迄、全10回）
25日	食育活動調理実習の開催（6市町村にて計9回開催、R8. 1/31 迄）
8月 1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol. 71」の発行
5日	タクシーの日ラジオ番組にて臓器移植に関する情報発信（RBCi ラジオ）
15日	臓器移植に関する意識調査事業（8/16 迄）
17日	第12回県民健康フェア2025（なごみ会との共催事業）
9月 1日	グリーンリボン路線バス車内広告（11/30 迄）
30日	若年層向け食育講習会（久米島高等学校、10/1 迄）
〃	ファミリーマートビジョン店内広告動画配信（10/27 迄）
10月 1日	グリーンリボンラジオ番組出演（RBCi ラジオ）
〃	グリーンリボンモノレール車内広告（10/31 迄）
4日	街頭キャンペーン及びグリーンライトアップ
8日	グリーンリボンPR展（県立図書館、10/27 迄）
9日	研修会等派遣事業（第61回日本移植学会総会、10/12 迄）
11日	移植医療セミナー（TPM）への派遣（10/19 迄）
16日	グリーンリボンラジオ番組出演（ラジオ沖縄）
21日	出張講座 臓器移植医療について（沖縄三育中学校）

10月22日	若年層向け食育講習会（真和志高等学校、10/23迄）
〃	グリーンリボンラジオ番組出演（エフエム沖縄）
25日	臓器移植を知るシンポジウム（県立図書館）
11月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.72」発行
6日	臓器移植に関する出張講座（沖縄大学）
13日	臓器移植を知るシンポジウム記事掲載（沖縄タイムス、琉球新報）
17日	情報セキュリティ講習会
19日	グリーンリボンPR展（県立中部病院、12/19迄）
21日	第2回沖縄県移植情報担当者会議
27日	若年層向け食育講習会（美里高等学校、11/28迄）
12月8日	第2回臓器移植推進委員会
14日	こどもスポーツフェスティバル2025
1月14日	令和7年度職員採用試験申込受付開始（2/8迄）
2月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.73」発行
8日	研修会等派遣事業（脳神経ハンズオンセミナー）
12日	研修会等派遣事業（第59回日本臨床腎移植学会、2/14迄）
14日	令和7年度職員採用試験第1次試験（テストセンター方式、2/23迄）
24日	臓器移植に関する市民公開講座（オンライン）
3月5日	第3回沖縄県移植情報担当者会議
7日	令和7年度職員採用試験第2次試験
12日	令和7年度職員採用試験最終合格者決定
25日	令和7年度第4回理事会
〃	第3回臓器移植推進委員会

4 評議員会決議事項

（1）令和7年度第1回臨時評議員会 みなし決議（令和7年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

（2）令和7年度定時評議員会（令和7年6月24日）

議案番号	議案	結果
第1号	令和6年度決算について	議決
第2号	評議員の辞任及び任期満了に伴う次期評議員の選任について	議決
第3号	役員の任期満了に伴う次期役員の選任について	議決

5 理事会決議事項

（1）令和7年度第1回理事会 みなし決議（令和7年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	専務理事の選定について	議決
第2号	専務理事への事務局長の職務の委嘱について	議決

(2) 令和7年度第2回理事会 (令和7年6月9日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和6年度事業報告について	議決
第2号	令和6年度決算について	議決
第3号	業務執行体制強化に関する内部規程の制定について	議決
第4号	仲宗根理事の利益相反に関連する取引について	議決
第5号	與那覇理事の利益相反に関連する取引について	議決
第6号	理事長の利益相反に関連する取引について	議決
第7号	評議員の辞任及び任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について	議決
第8号	役員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について	議決
第9号	令和7年度定時評議員会について	議決

(3) 令和7年度第3回理事会 みなし決議 (令和7年6月24日)

議案番号	議案	結果
第1号	代表理事(理事長)の選定について	議決
第2号	専務理事の選定について	議決
第3号	専務理事への事務局長の職務の委嘱について	議決

(4) 令和7年度第4回理事会 (令和8年3月25日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和8年度事業計画書について	議決
第2号	令和8年度収支予算書について	議決
第3号	令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて	議決
第4号	特定資産(公益事業拡充資産)の計上について	議決
第5号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第6号	令和8年度第1回臨時評議員会の招集について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 評議員

ア 現況 (令和8年3月31日)

氏名	任期	備考
稲田 隆司	令和7年6月24日～令和11年度定時評議員会	沖縄県医師会副会長
笠原 寛子	〃	沖縄県栄養士会副会長
田端 一雄	〃	沖縄県経営者協会専務理事
波平 道子	〃	沖縄県女性連合会副会長
松下 美智子	〃	沖縄県議会文教厚生副委員長

山内 昌満	〃	沖縄県保健医療介護部 医療介護統括監
-------	---	-----------------------

イ 異動状況

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和7年4月1日	評議員	山内 昌満	選任	新任 沖縄県保健医療介護部 医療介護統括監
令和7年4月27日	評議員	仲村渠 苗子	辞任	
令和7年6月24日	評議員	稲田 隆司	選任	再任
〃 〃	評議員	笠原 寛子	選任	再任
〃 〃	評議員	田端 一雄	選任	再任
〃 〃	評議員	知花 優	選任	再任
〃 〃	評議員	松下 美智子	選任	再任
〃 〃	評議員	山内 昌満	選任	再任
〃 〃	評議員	波平 道子	選任	新任 沖縄県女性連合会副会長
令和8年2月20日	評議員	知花 優	辞任	
令和8年3月31日	評議員	山内 昌満	辞任	

7 役員等に関する事項

(1) 役員

ア 現況（令和8年3月31日）

職名	氏名	任期	備考
理事長	田名 毅	令和7年6月24日～ 令和9年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	喜舎場 健太	〃	沖縄県保健医療福祉事業団
理事	糸数 公	〃	沖縄県保健医療介護部部長
理事	嘉数 晃	〃	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
理事	新垣 新	〃	沖縄県議会文教厚生委員長
理事	仲宗根 哲	〃	連合沖縄会長
理事	宮城 茂	〃	沖縄県経営者協会会長
理事	村濱 千賀子	〃	沖縄県栄養士会会長
理事	與那覇 信子	〃	沖縄県女性連合会会長
監事	有銘 寛之	〃	公認会計士
監事	城間 雄一郎	〃	税理士

イ 異動状況

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和7年4月1日	理事	喜舎場 健太	選任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事
〃 〃	理事	嘉数 晃	選任	新任 沖縄県商工労働部産業雇用統括監
令和7年6月24日	理事長	田名 毅	再任	
〃 〃	理事	糸数 公	再任	
〃 〃	理事	嘉数 晃	再任	
〃 〃	理事	喜舎場 健太	再任	
〃 〃	理事	新垣 新	再任	
〃 〃	理事	仲宗根 哲	再任	
〃 〃	理事	宮城 茂	再任	
〃 〃	理事	村濱 千賀子	再任	
〃 〃	理事	與那覇 信子	再任	
〃 〃	監事	有銘 寛之	再任	
〃 〃	監事	城間 雄一郎	再任	
令和8年3月31日	理事	糸数 公	辞任	
〃 〃	理事	嘉数 晃	辞任	
〃 〃	理事	喜舎場 健太	辞任	

(2) 職 員

ア 現 況 (令和8年3月31日)

職種	人数	備考
副参事兼課長	1	再任用1名及び臓器移植コーディネーター2名を含む 健康づくり班2名、総務班1名
主 幹	1	
主 査	4	
主 任	2	
嘱託員	3	
合計	11	

イ 異動状況 (職員)

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和7年12月31日	主任	前津 郁	退 職	
令和8年3月31日	主査 (再任用)	大城 幸枝	退 職	

【事業報告の付属明細書】

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。